

質問に対する回答（令和4年4月28日更新分）

調達件名：令和4年度札幌市心のバリアフリー推進事業運営業務

	質問内容	回答
No. 1	提案説明書の12—(2)研修の企画において、【講師例】とありますが、講師名も入れるという解釈でよろしいでしょうか。	具体的な想定がある場合は記載してください。
No. 2	心のバリアフリー推進アドバイザーの昨年度利用1件のご相談内容を教えていただけますでしょうか。	障がい者雇用に関する相談です。
No. 3	心のバリアフリー研修の研修内容を民間資格に準拠した内容とし、受講者に対して資格を認定することは可能でしょうか。 可能の場合、広報業務として資格取得を訴求して広報してもよろしいでしょうか。	研修内容については、業務仕様書「7 その他留意事項」に記載のとおり、成果物は全て委託者に帰属することとしており、著作権等の他団体の権利を侵害しないよう十分留意し、提案してください。 なお、民間資格について、委託者と協議のうえ、受講後に希望者へ認定することは問題ありませんが、当該資格の取得が受講の目的となるような広報周知の方法とならないよう留意してください。
No. 4	広報業務における「ソーシャルネットワークサービスを用いた情報発信」では、札幌市のソーシャルネットワークサービスは使用可能でしょうか。 可能の場合、具体的なソーシャルネットワークサービス名称を教えてくださいませんか。	No. 4 と No. 5 の質問については、まとめて回答させていただきます。 受託者がアカウント等を管理・運営する既存のソーシャルネットワークサービスの使用を想定しております。
No. 5	広報業務における「ソーシャルネットワークサービスを用いた情報発信」とは、本事業のソーシャルネットワークサービスの開設・運用代行を指すものではないでしょうか。	